

# 日本人から見た在日中国人留学生の文化適応の問題点 —日本人を対象とする自由記述調査のデータより—

毛 新華(MAO Xinhua)

(神戸学院大学 人文学部 人間心理学科)

キーワード：在日中国人留学生, 日本人の視点, 文化適応, 自由記述調査

## 問題と目的

先行研究(田中, 2000; Fumham & Bochner, 1986)では, 異文化適応の最重要課題は「円滑な対人関係の形成」であると指摘している。このことを踏まえて, 毛(2010, 2012)やMao(2011)では, 日本社会に増加し続ける中国人留学生を対象に, 彼らの日本文化適応, とりわけ日本人との対人関係に焦点を当て, 問題点を整理した。自由記述調査で得られたデータに対するKJ法の整理, そして項目リストに基づく質問紙調査で得たデータに対する因子分析の結果, 中国人留学生の認識した日本人の人間関係の特徴が3つの因子(「集団ルールへの重視」、「心理的ストレス」、「日本的思いやり」)によって構成されることが明らかとなった。しかし, 上記の一連の研究では, 対象者はいずれも中国人留学生自身であった。異文化適応の問題点を整理することにあたり, 適応する人々の自身からの考えだけではなく, 適応しようとする文化で生活している人々の視点も欠かせない。そこで, 本研究では, 中国人留学生の日本文化適応の問題点を日本人の視点から整理する試みを行う。

## 方法

### 調査対象者と実施期間

関西圏にある大学, 日本語学校, そしてボランティアとして中国人留(就)学生と関わりのある留学生を指導・世話する立場にある日本人43名(男性15名, 女性28名; 平均年齢49.29±10.46)を対象に, 2013年2月に自由記述調査を行った。

### 調査内容

無記名式の質問紙を用いて調査を行った。フィースシートでは, 調査対象者の性別, 年齢, そして仕事の内容, 中国人留学生に接している年数といった質問項目を設定した。自由記述項目では, 毛(2010)の質問項目と統一し, 中国人留学生の日本人との人間関係を中心内容とした4つの質問を設定し, 箇条書で回答を求めた。なお, 調査の時期を鑑みて, 「回答が政治的問題から独立するように」と回答者に教示した。

- ①日本人との対人関係の面においては, 中国人留学生が日本人と異なる点は何か
- ②中国人留学生があなたを困らせたことはどういったような点か
- ③中国人留学生と比べた場合, 日本人同士の対人関係の特徴は何か
- ④中国人留学生は日本人との対人関係がよりスムーズになるには, アドバイスをください

### 分析方法

4つの自由記述の質問項目に関しては, KJ法(川喜田, 1986)に基づき, 本研究の目的の知らない中国人1名(在日年数13年)および中国人の大学教員1名(社会心理学専攻, 在日年数16年)が協議をしながら, 回答の分析・整理を行った。

## 結果と考察

### 調査対象者の基本属性

調査対象者の職業構成については, 大学・日本語教育機関教員は32名, 職員は7名, 留学生をお世話するボランティアは3名, 大学院生は1名であった。中国人留学生と接し

ている年数は2年~40年の幅があり, 平均年数は17.32±9.29年であった。

### 自由記述調査項目

得られた記述に対して, まず対人的な観点からの答えではない記述を省いた。そして, 残された有効な記述に対して, 質問ごとに同じ記述や類似した意見をカテゴリー化した。質問①, ②で得られた記述は中国人留学生の日本人との対人関係の特徴および問題点に関する意見であり, 質問③は(留学生の不足している)日本人の対人関係の特徴の意見であり, 質問④は中国人留学生が日本人とよりよい人間関係を結ぶための解決策の意見である。4つの質問にこのような関連性があるため, 記述をまとめる際には, 留学生の一つの特徴や問題点に対して, 日本人の特徴, そして問題点の解決策という対応関係に基づき整理を行った。なお, 記述の累積度数は1であった場合は原則として省かれるが, 他の答えと関連があった場合採用されることになる。

上記の手続きにより, すべての記述から, 中国人留学生の日本人との対人関係における特徴や問題点について, 「表出の仕方の特徴」、「相手や周りの他者への配慮不足」、「社会的規範」、「個人的な性質」という4つのカテゴリーをまとめることできた。集計できた記述の数から, 「表出の仕方の特徴」においては, 留学生の「自己主張」、「直接的な表現」、「距離感の近さ」が特徴的なものである。「相手や周りの他者への配慮不足」では, 「自己中心的」、「度を越えた要求」、「相手の都合を考えない」などが特徴的なものになっている。「社会的規範」では, 「約束や時間を守らない」、「ルール守らない」といった点は目立っている。「個人的な性質」では, 「倫理観の欠如」という点は特徴的であった(Table 1)。

今後, 本研究の結果と中国人留学生を対象とする結果の比較, ならびに在日中国人の長期滞在者と短期滞在者が考えている適応の問題点を比較し, 在日期間と中国人・日本人の双方視点から検討する必要があると考えられる。

Table 1 自由記述調査から得た記述のまとめ

特徴や問題点	記述	頻度	割合	記述	頻度	割合
表出の仕方	1 行で打ち解ける	11	10.7%	12 相手の都合を優先する	1	0.9%
相手の立場への配慮不足	13 相手の都合を優先する	1	0.9%	14 相手の都合を優先する	1	0.9%
社会的規範	15 約束や時間を守らない	1	0.9%	16 ルール守らない	1	0.9%
個人的な性質	17 倫理観の欠如	1	0.9%	18 自己中心的	1	0.9%

本研究は, 平成23年度-25年度学術研究助成基金助成金若手研究(B)(課題番号23730580)および神戸学院大学人文学部研究推進費の助成を受けた。